

東上総教育事務所だより



東上総教育事務所
シンボルマーク



九十九里浜

千葉県教育庁東上総教育事務所
〒297-0024 茂原市八千代2-10

TEL0475-23-8125

第8号(令和7年12月5日)

管理課より

「教職員人事評価制度」今後の流れについて

中間申告・面談も終え、「教職員の能力開発及び人材育成」と「学校組織の活性化」を目的として行われている教職員の人事評価制度も、まとめの時期が近づいてきました。今後の流れを確認するとともに、今年度の成果と課題を検証することで、次年度につなげていきましょう。

1 最終申告について

(1) 各シートの記入(1月～2月)

中間申告と同様に、2つのシート(目標申告シート、職務能力発揮シート)に記入します。最終申告では、各シートの左下にある【改善点・次年度の目標等】も記入します。

(2) 最終面談(2月末まで)

最終面談は全員が実施対象です。今年度の成果と今後の課題について、管理職と認識を共有することで資質能力の向上及び学校組織の活性化を図り、学校教育の充実につなげます。

2 評価の開示・苦情の申出について

(1) 評価結果の開示について

評価結果の開示は、「希望者」及び「業績総合評価及び能力総合評価にC・Dがある者」に対して、下記の日程で行われます。

(2) 苦情の申出について

「業績総合評価」、「能力総合評価」の結果について、第2次評価者(校長)から説明を受け、納得がいかない場合は再説明を受けることができます。それでも納得がいかない場合は、市町村教育委員会に苦情の申出を行うことができます。苦情については、申出者及び評価者から事情を聴くなどしたのち、必要に応じて「苦情審査委員会」で審査を行います。

評価	⇒	開示	⇒	再説明	⇒	苦情申出	⇒	事情聴取	⇒	苦情審査委員会	⇒	審査結果の通知
3/1		3/8～17		3/8～17		3/8～20		3/8～		3/21～		

(※苦情申出、事情聴取は県立学校の日程)

総務課より

年末調整について

年末調整とは、その年に支払うべき所得税を正しく計算し、毎月の給料や賞与から源泉徴収された所得税額との過不足を精算する手続きです。毎年最後の給料が支給される12月に行われます。

令和7年の税制改正により、昨年と変更となっている点があります。主な改正点についてお知らせします。新たに扶養控除等の対象となった親族等がないかご確認ください。

1 基礎控除の見直し

合計所得金額に応じて基礎控除額が改正されました。
(改正前：一律48万円)

合計所得金額	132万円以下	132万円超 336万円以下	336万円超 489万円以下	489万円超 655万円以下	655万円超 2,350万円以下
控除額	95万円	88万円	68万円	63万円	58万円

2 給与所得控除の見直し

給与所得控除の最低保障額が55万円から65万円に引き上げられました。

給与の収入額	162万5,000円以下	162万5,000円超 180万円以下	180万円超 190万円以下
改正前	55万円	その収入金額×40%-10万円	その収入金額×30%+8万円
改正後	65万円		

3 扶養親族等の所得要件の改正

扶養控除等の対象となる扶養親族の所得要件が48万円以下から58万円以下に引き上げられるなど、所得要件が改正されました。

扶養親族等の区分	所得要件 () 内は収入が給与だけの場合の収入金額	
	改正後	改正前
扶養親族 同一生計配偶者 ひとり親の生計を一にする子	58万円以下 (123万円以下)	48万円以下 (103万円以下)

4 特定親族特別控除の創設

職員と生計を一にする年齢19歳以上23歳未満の親族で、合計所得金額が58万円超123万円以下の場合に受けられる控除として、特定親族特別控除が創設されました。(収入が給与だけの場合の収入金額123万円超188万円以下の親族が該当) 控除を受ける場合は「給与所得者の特定親族特別控除申告書」の提出が必要です。

指導室より

家庭教育

家庭教育支援の充実に向けて

家庭は教育の原点であり、すべての教育の出発点です。また、教職員は専門性を生かし、家庭教育を支援する重要な役割も担っています。

下の表を使い、学校における支援の在り方について考えてみましょう。



キャリア教育



急速に変化する社会に対応するため、キャリア教育の重要性が増しています。理念が定着してきている一方で、形だけのものになっていませんか。全教育活動において、キャリア教育の視点を持ち、**それぞれの教育活動の中にあるキャリア教育の「断片」をつなぎ、体系的・系統的な教育活動として実現させる、意識的な取組を計画していきましょう。**

現在のキャリア教育の課題と対策例

課題①：「職場体験活動＝キャリア教育」になっている

対策：特別活動を中心に各教科の学びに意図的に組み込む
：●●教育をキャリア教育に結び付けて計画する

課題②：各学校段階への進学のみを見据えた指導になっている

対策：キャリア・パスポートの有効的活用（異校種間の引継ぎ）
：学校と地域・社会や産業界等が連携・協働した取組の促進

課題③：将来の夢を描くことばかりで、「働くこと」の現実や必要な資質・能力の育成につながる指導が軽視されている（基礎的・汎用的能力の軽視）

対策：年間指導計画の見直し
：学校生活と社会生活・職業生活を関連付ける
：将来の夢と学業を結び付け、学習意欲を喚起する

キャリア教育資料のホームページが11月に公開されました。

左に挙げた課題に関する資料や、その他の資料も掲載されていますので、是非ご活用ください。

